

2. 伊丹市における患者の受診動向

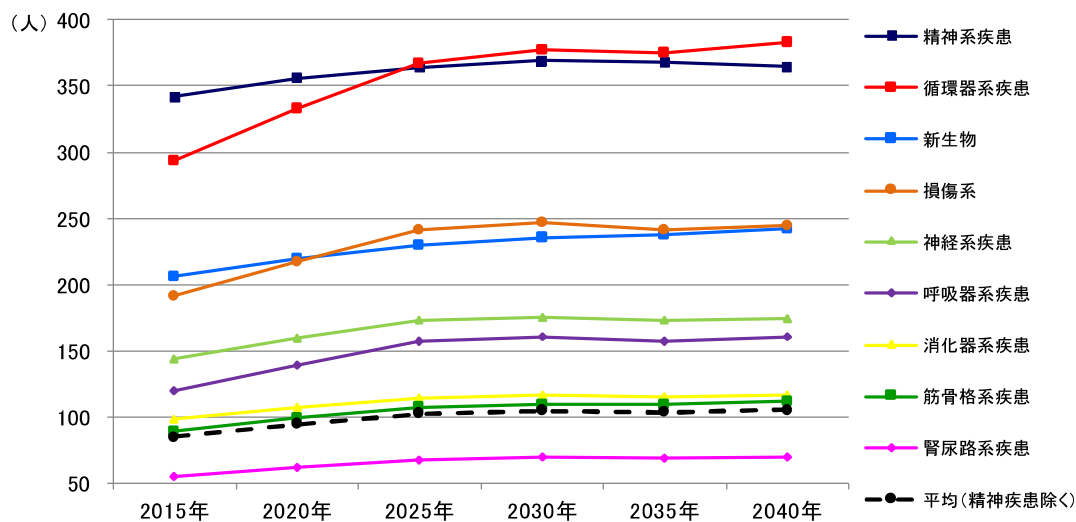
(1) 伊丹市国民健康保険レセプトデータによる分析（入院）

平成 26～28 年度の 6 月・9 月・12 月・3 月分の伊丹市国民健康保険のレセプトデータを用い、以下のとおり分析した。

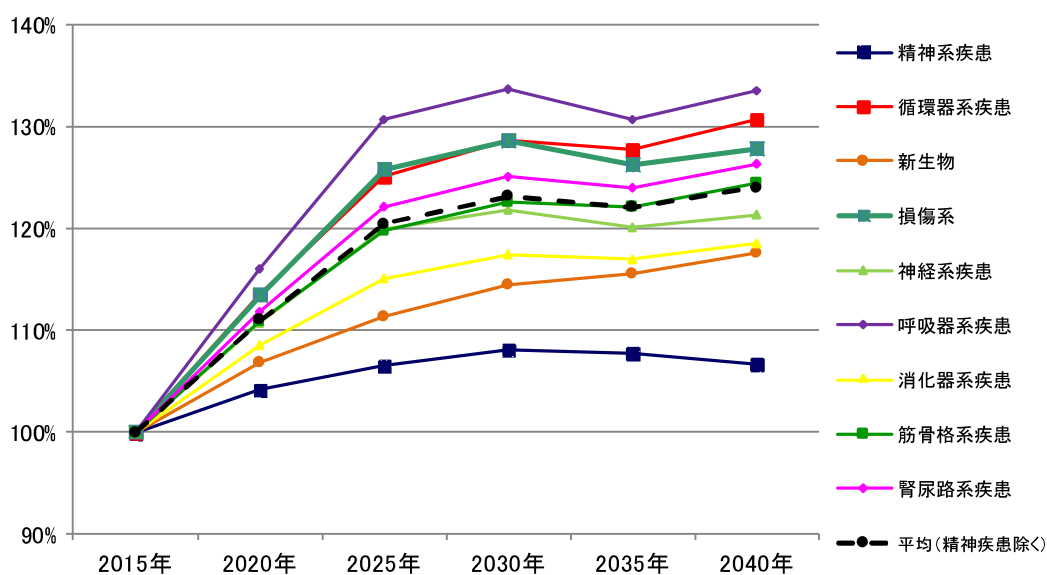
① 伊丹市入院医療需要（1 日あたり実患者数）、入院医療需要伸び率

伊丹市の入院医療の需要は、精神系、循環器系、新生物、損傷系で高く、伸び率は呼吸器系、循環器系で高くなっており、2030 年まで需要は高くなり、平均で 120%を超えることが推測されている。

＜伊丹市入院医療需要（1 日あたり実患者数） ※50 人／1 日以上 of 疾病のみ表示＞



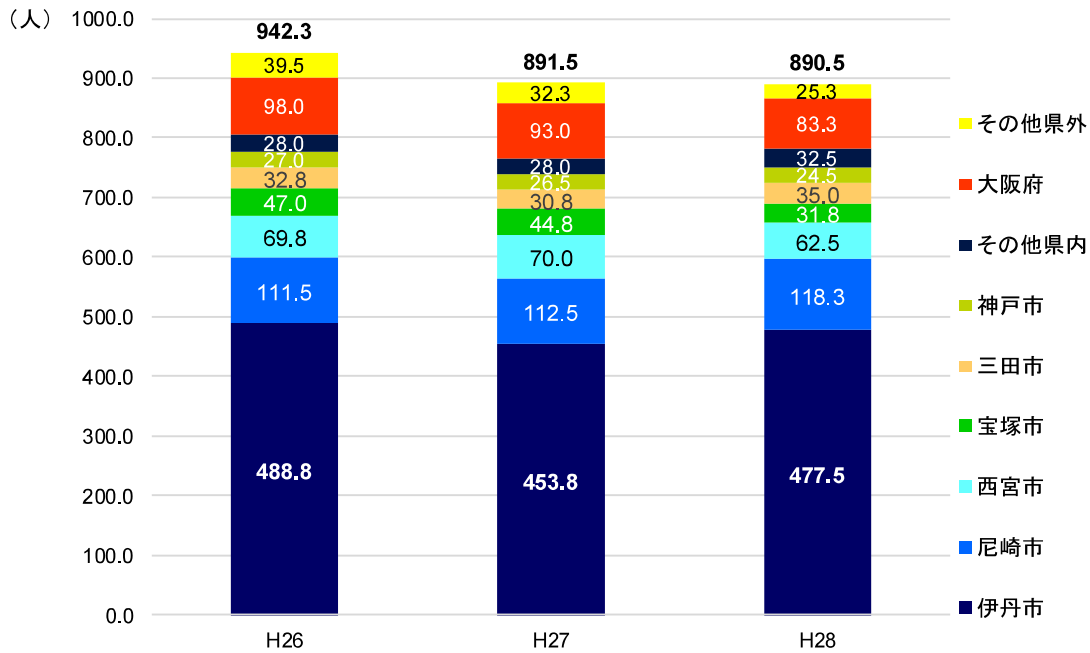
＜入院医療需要伸び率＞



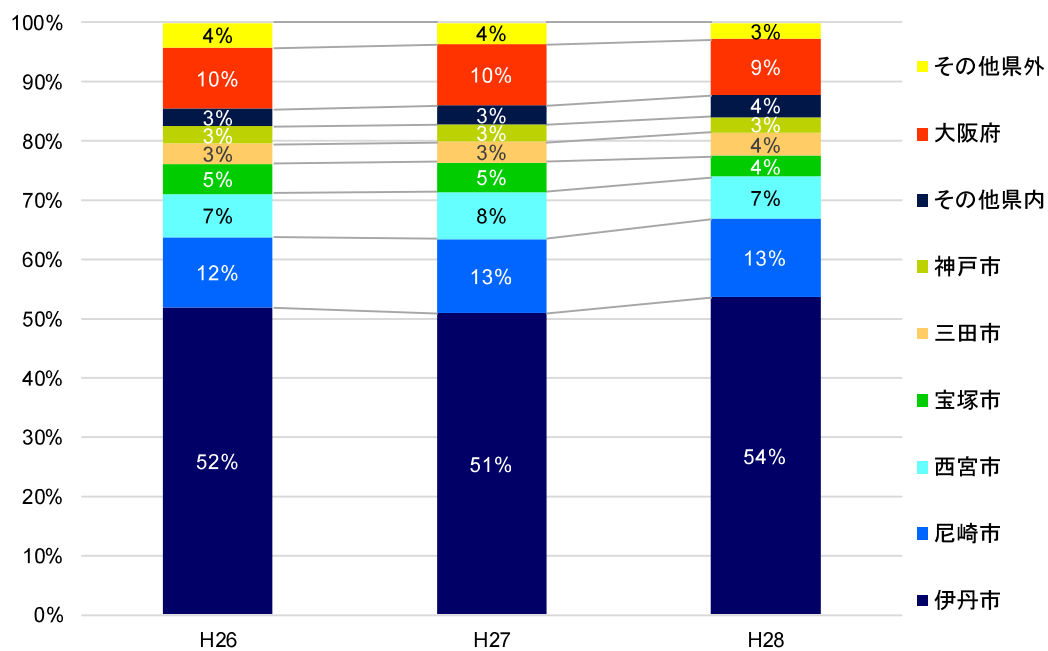
② 伊丹市国保患者の受診状況

伊丹市の入院における国保患者は約 50%が伊丹市で受療しており、市外への流出は、主に、尼崎市、大阪府、西宮市の順に多くなっている。

<伊丹市 国保患者の医療受診市（1月あたり実患者数）>

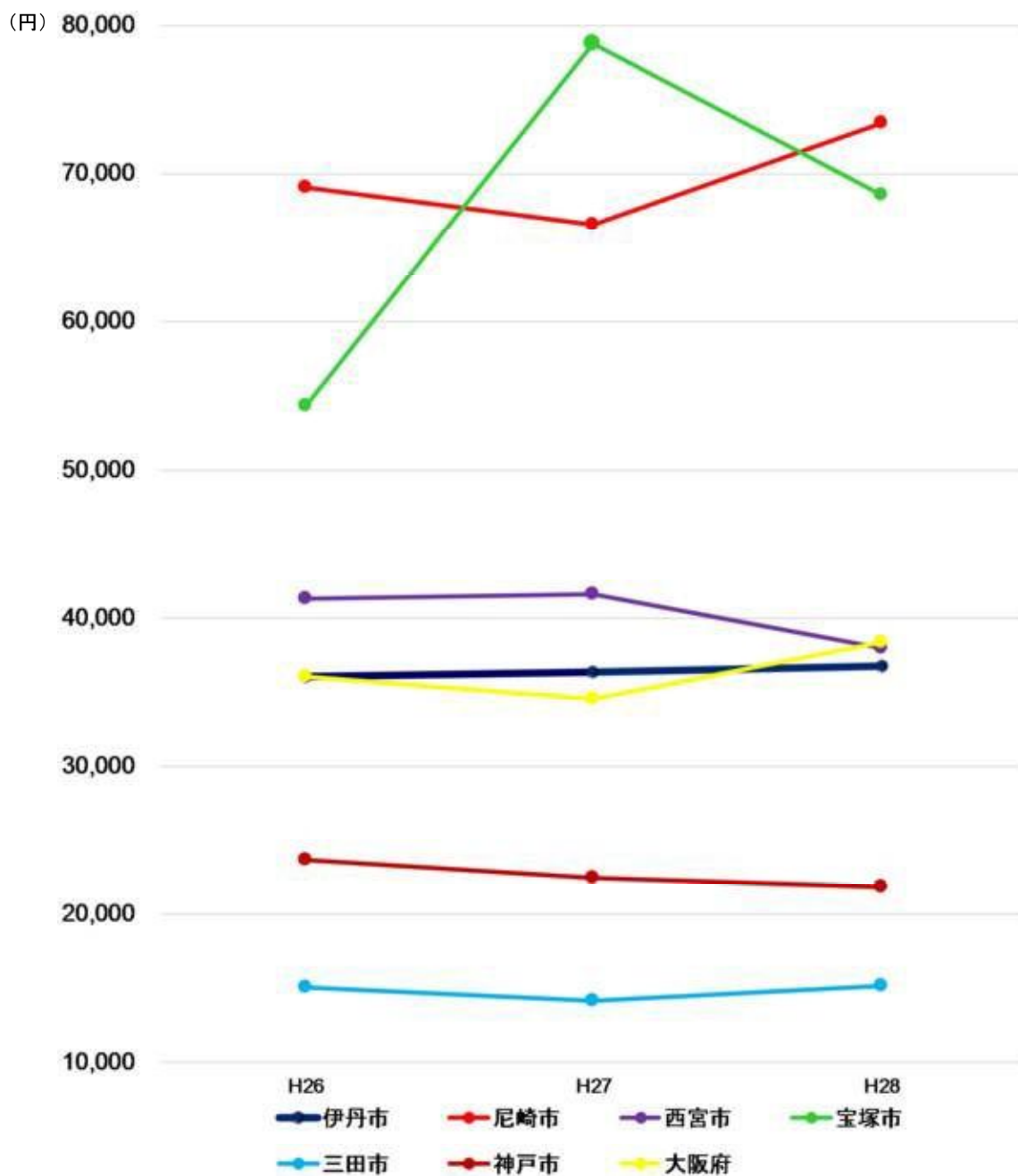


<伊丹市 国保患者の医療受診市割合>



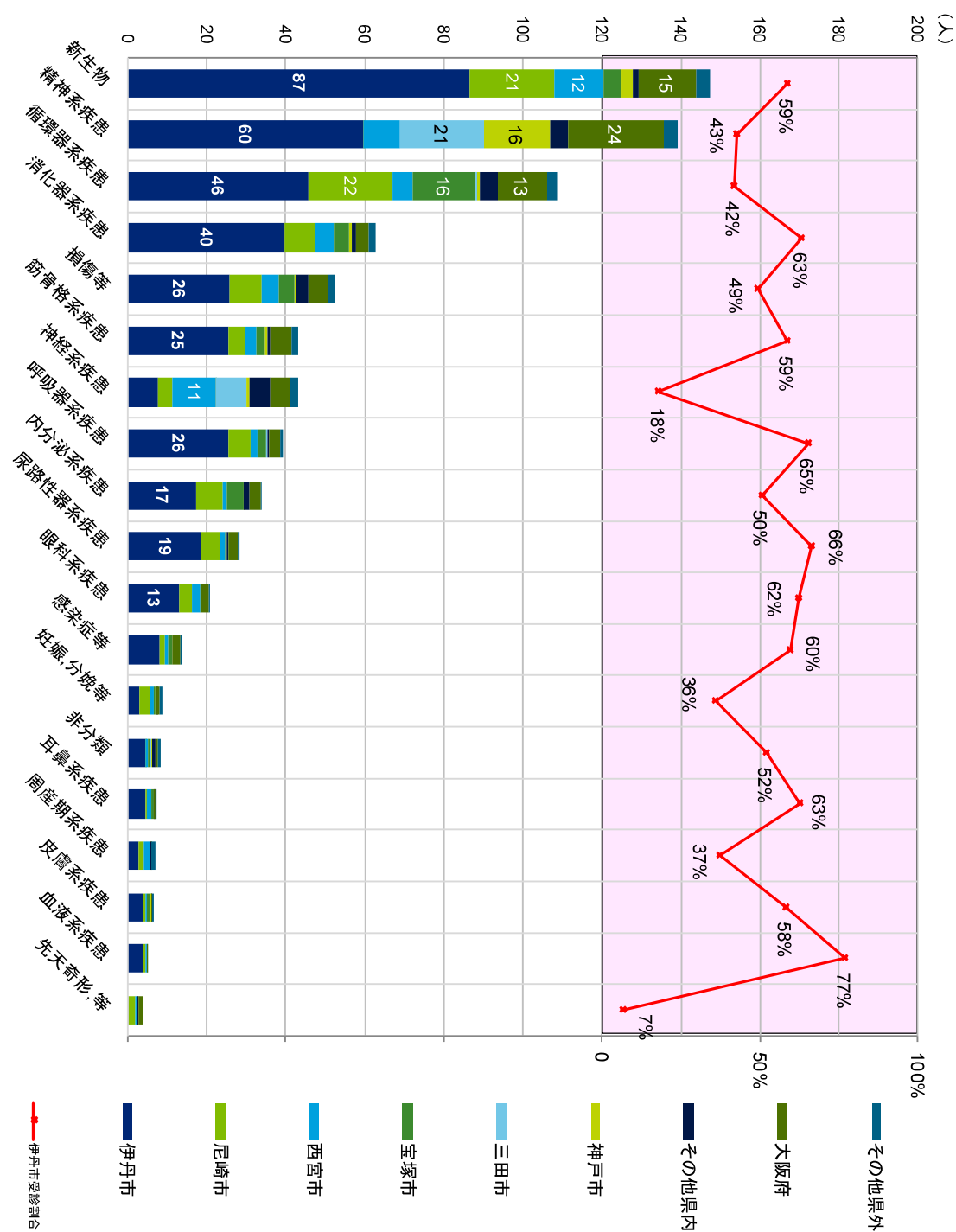
③ 入院での受診市における入院単価

入院単価で、伊丹市は 30,000 円台で推移しているのに対し、尼崎市、宝塚市では 50,000 円以上となっており、医療資源投入の高い患者が流出している状況にある。



④ 入院での疾病別受診市（１月あたり実患者数及び伊丹市受診割合）

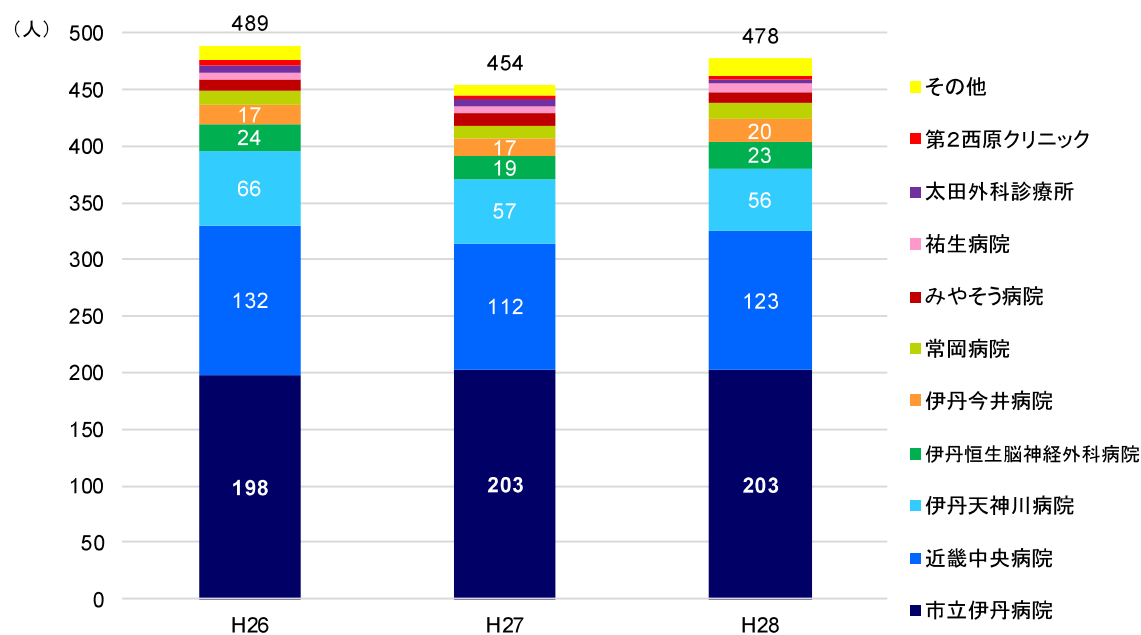
入院患者数の多い新生物、精神系、循環器系で、主に尼崎市、宝塚市、大阪府へ流出している。割合では専門科を必要とする神経系、妊娠・分娩等、周産期系、先天奇形等での流出割合が高くなっており、救急を要する損傷系の流出も高くなっている。



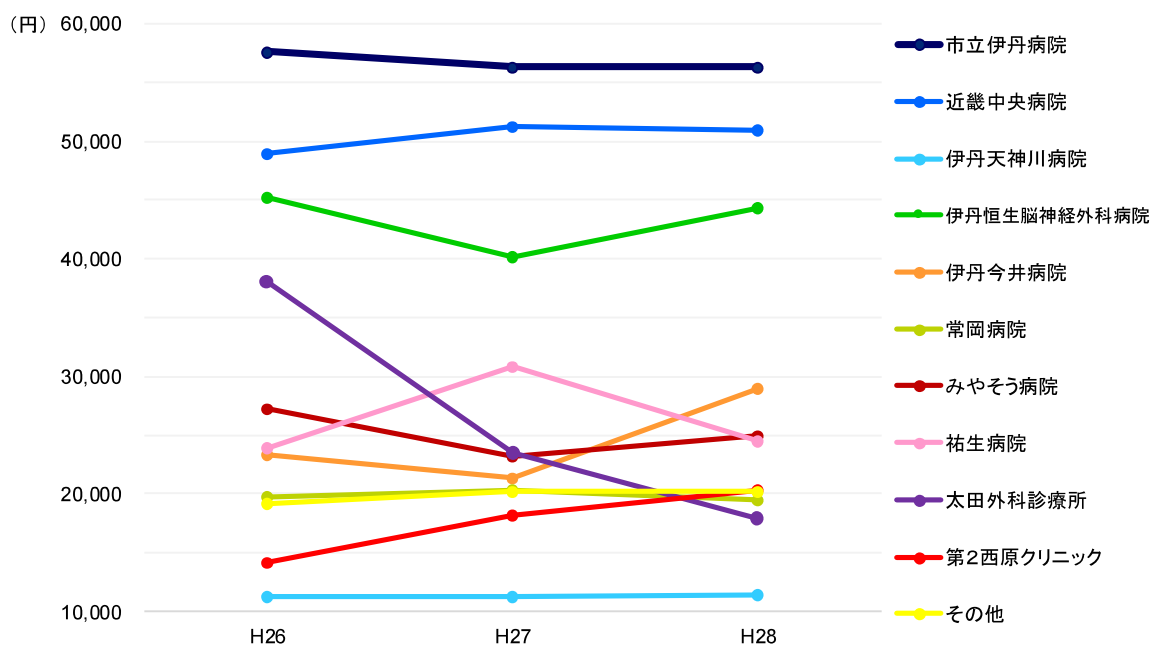
⑤ 伊丹市内での入院患者動向（１月あたり実患者数及び入院単価）

伊丹市内では、伊丹病院と近畿中央病院が大きなシェアを持っており、単価からは、おおむね、伊丹病院、近畿中央病院、伊丹恒生脳神経外科病院の３病院で急性期医療を担っていると考えられる。

＜伊丹市内での入院患者動向（１月あたり実患者数）＞



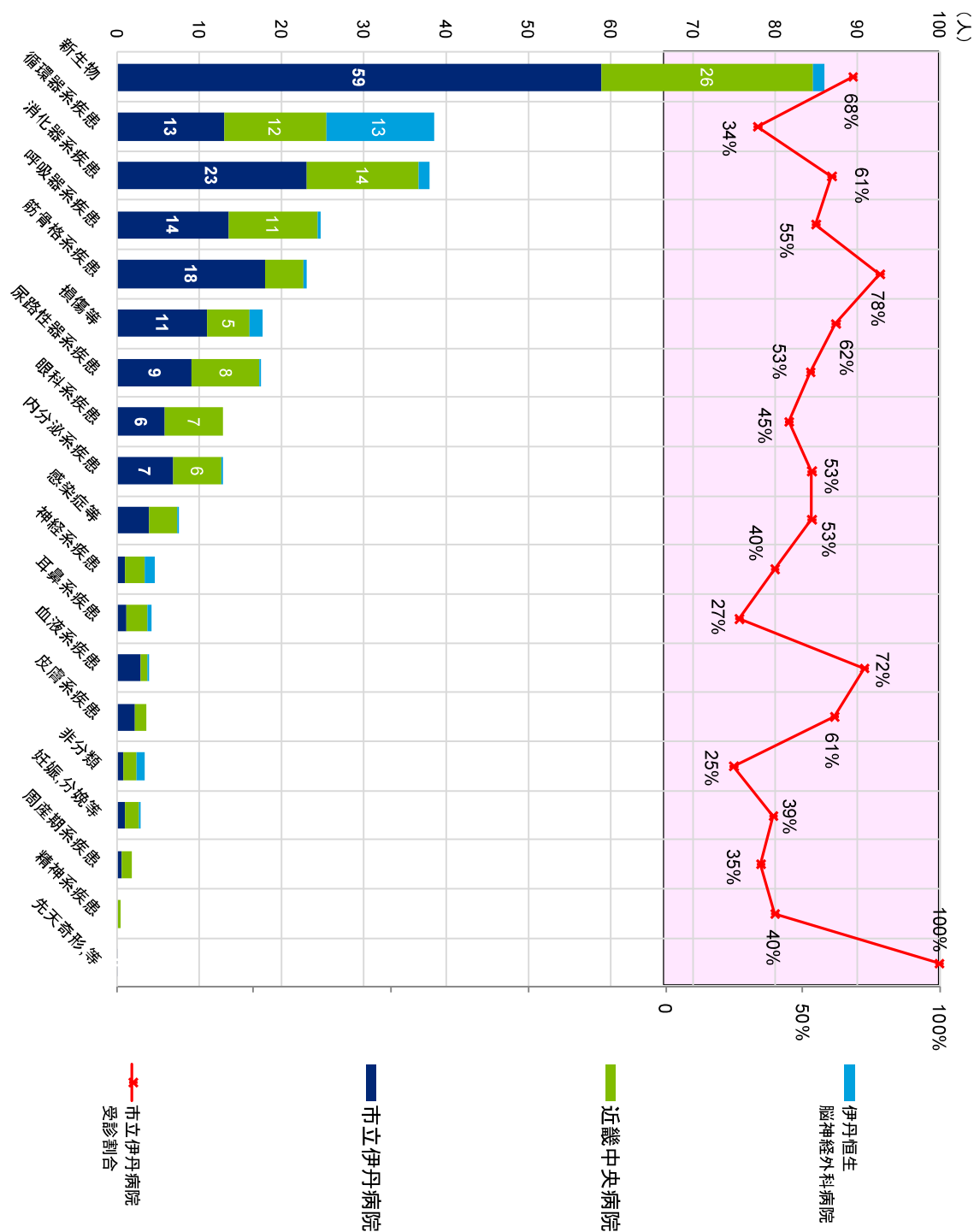
＜伊丹市内での入院患者動向（入院単価）＞



⑥ 疾患別伊丹市内での入院患者動向（１月あたり実患者数及び伊丹病院受診割合）

伊丹市内では、伊丹病院は循環器系を除き、患者数の多い疾患において高いシェアを有している。

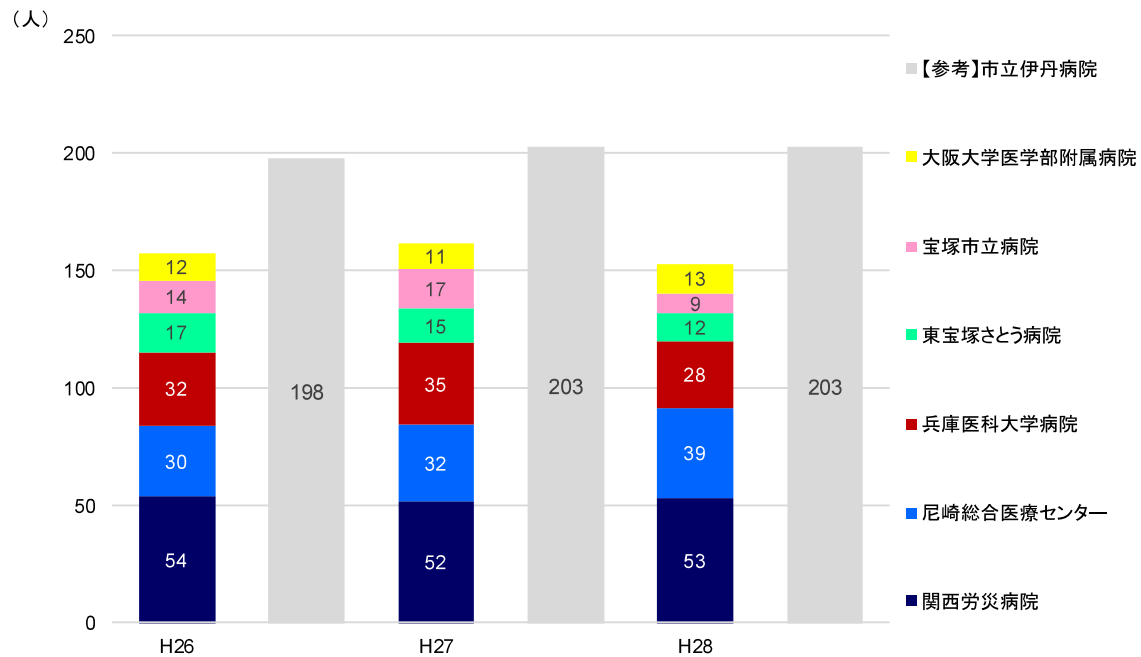
※市立伊丹病院・近畿中央病院・伊丹恒生脳神経外科病院の3病院のみの集計



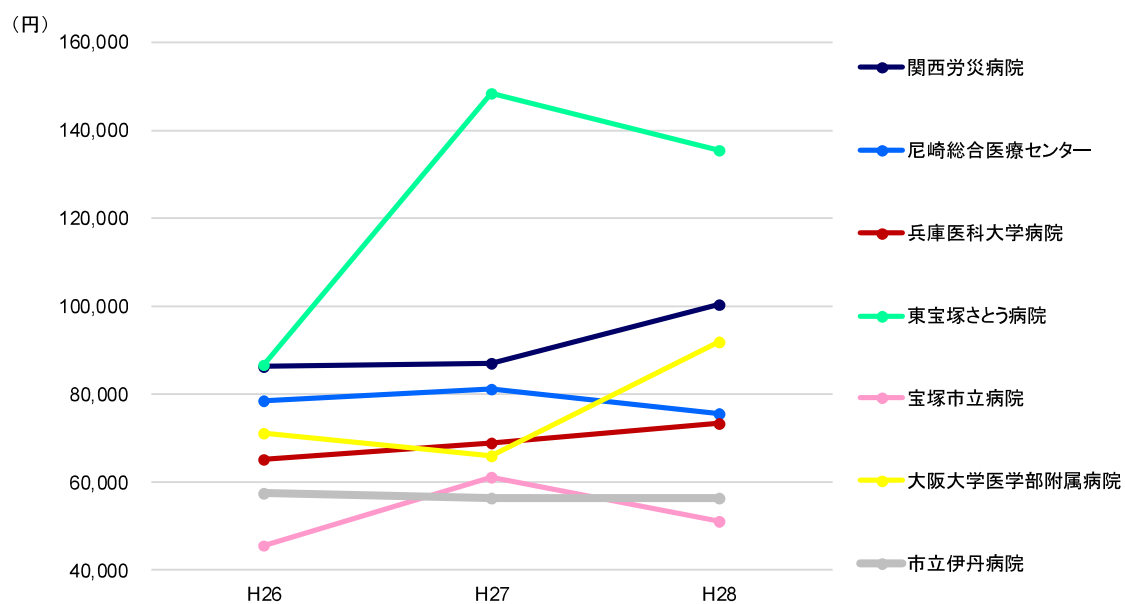
⑦ 伊丹市外への流出入院患者動向（１月あたり実患者数及び入院単価）

伊丹市外へは、阪神南医療圏の関西労災病院、尼崎総合医療センター、兵庫医科大学病院の３病院へ流出が多くなっており、単価も 60,000 円以上の患者が流出している。

<伊丹市外への流出入院患者動向（１月あたり実患者数）>



<伊丹市外への流出入院患者動向（入院単価）>



⑧ 伊丹市外流出病院の立地

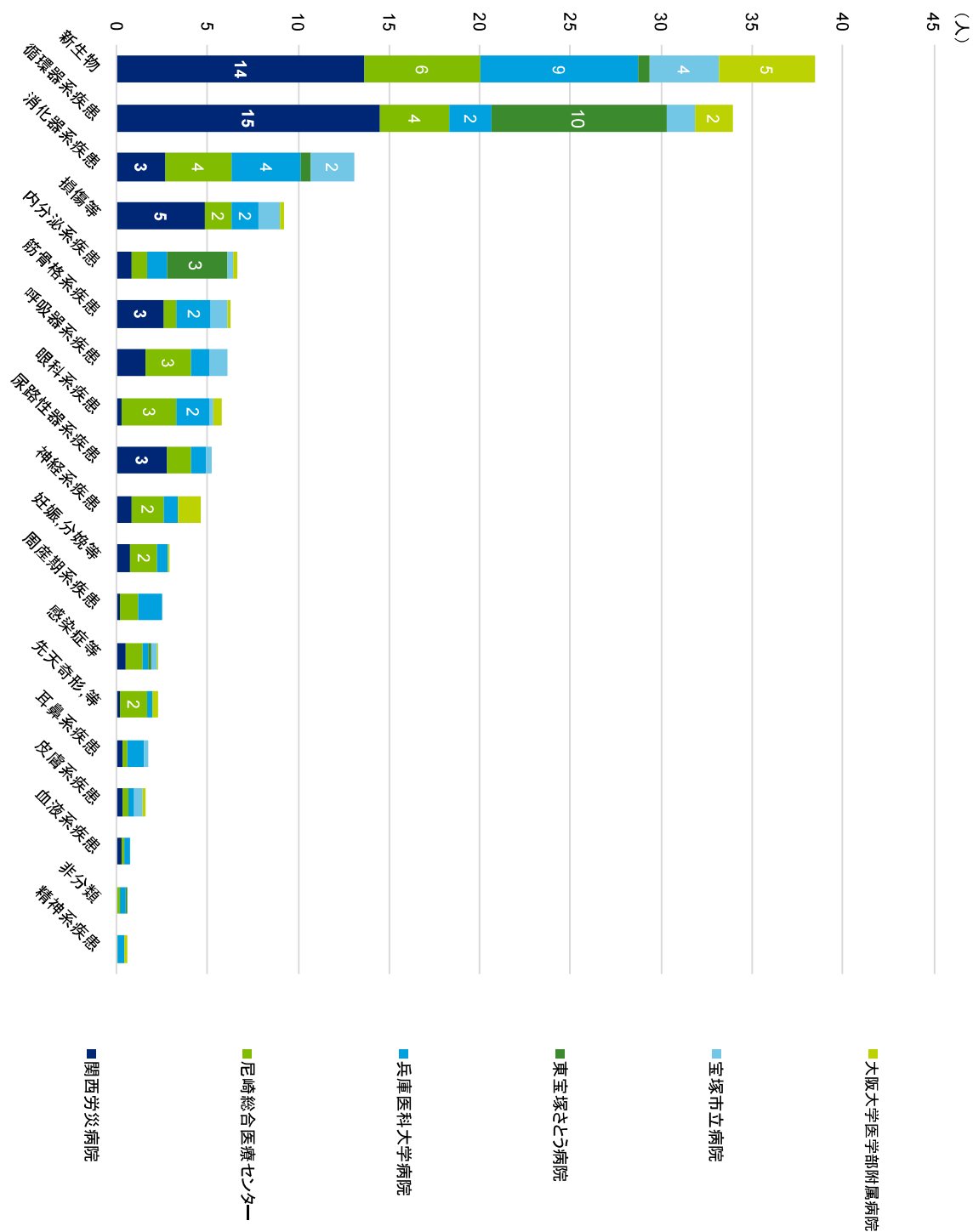
立地としては、近隣の阪神南医療圏域への流出と、隣接する宝塚市への流出が多くなっており、一定の距離内に高度急性期機能を担う医療機関が複数あることが原因と考えられる。



	病院名	病床数	3次救急
1	市立伊丹病院	414	
2	近畿中央病院	445	
3	関西労災病院	642	○
4	尼崎総合医療センター	730	○
5	兵庫医科大学病院	963	○
6	東宝塚さとう病院	184	
7	宝塚市立病院	446	
8	大阪大学医学部附属病院	1,024	○

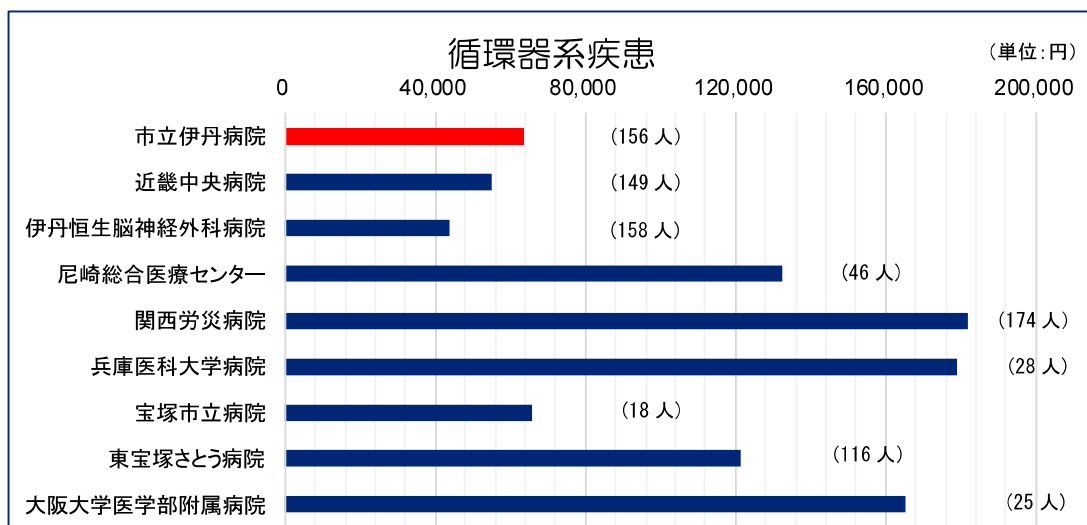
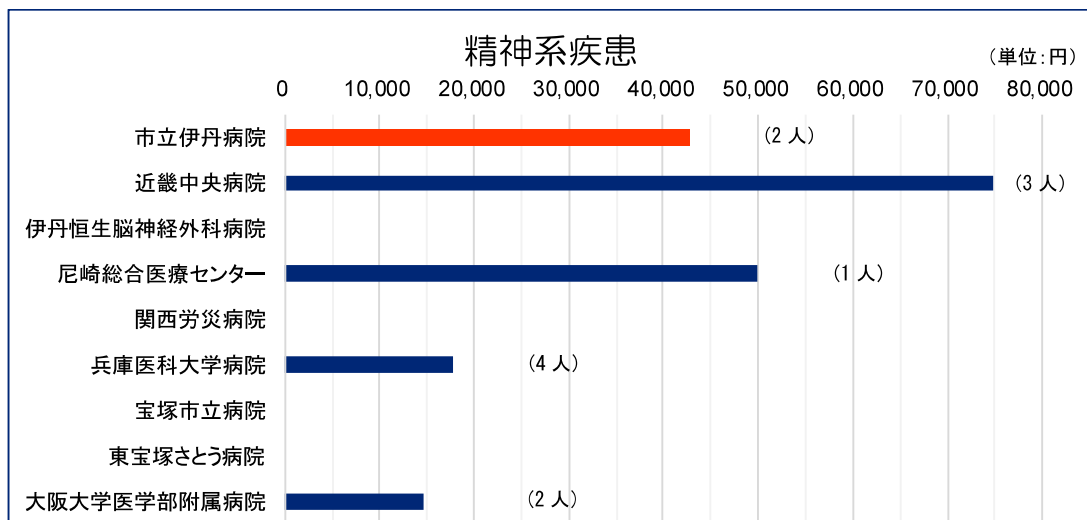
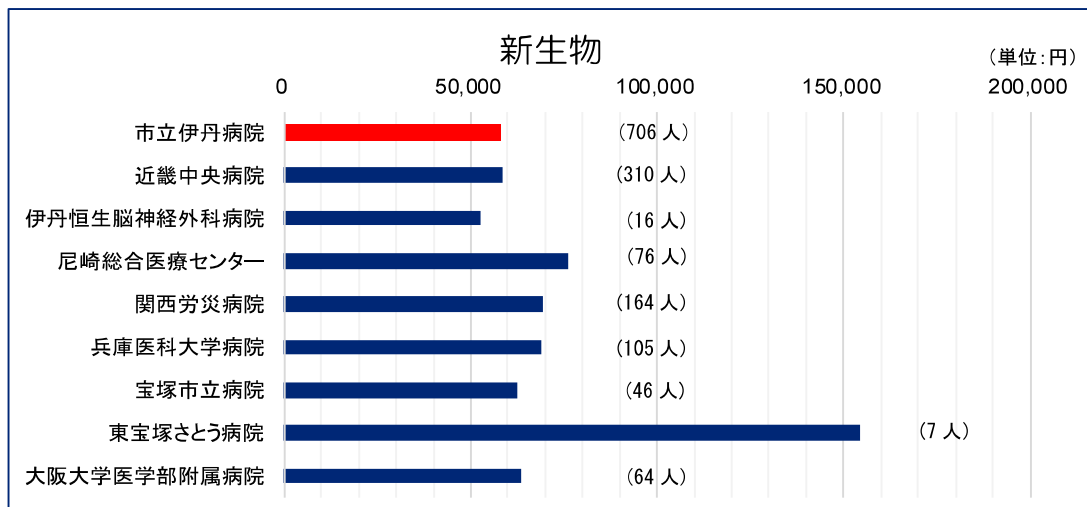
⑨ 疾患別伊丹市外の病院への入院患者動向（1月あたり実患者数）

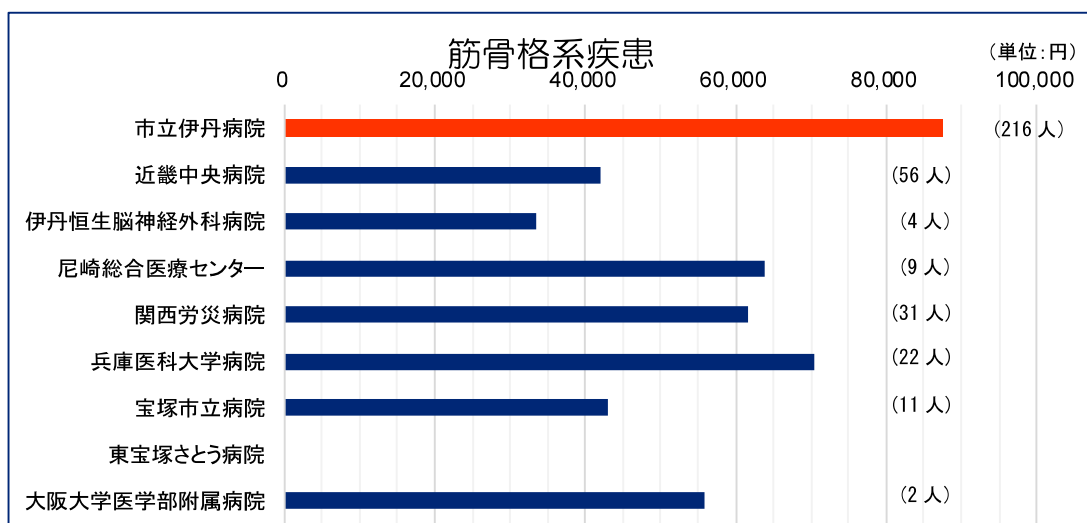
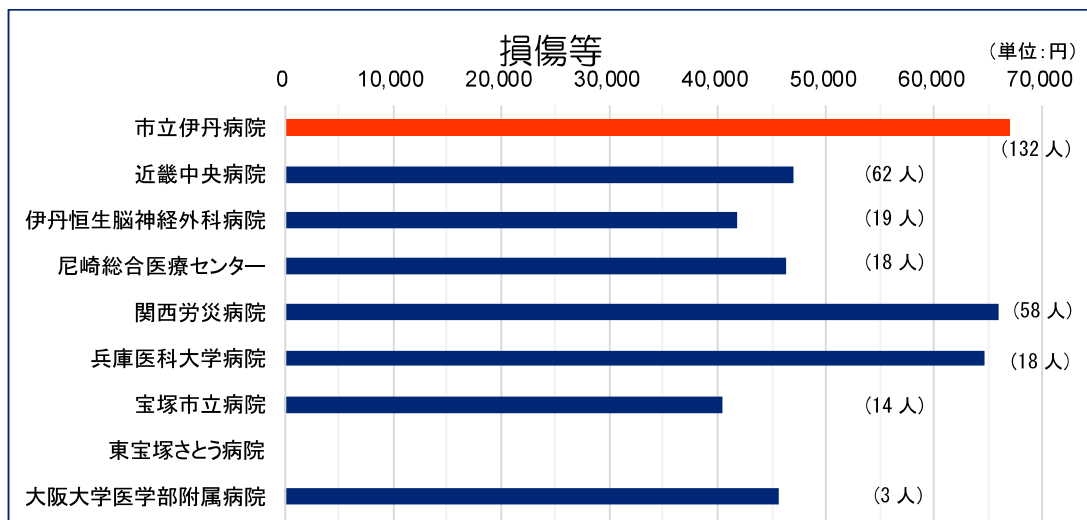
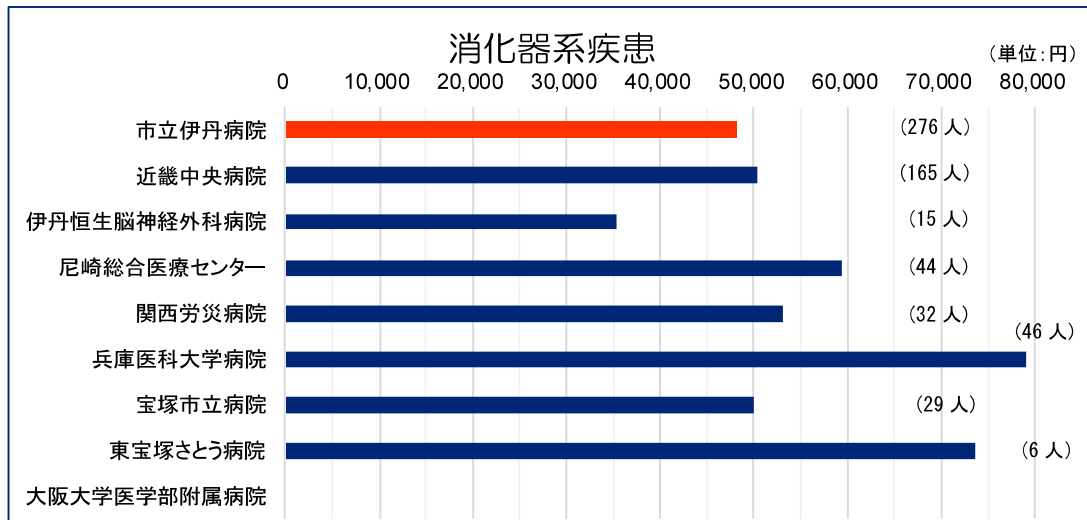
患者数の多い新生物、循環器系等の疾患において、関西労災病院、尼崎総合医療センター、兵庫医科大学病院への流出が多くなっている。

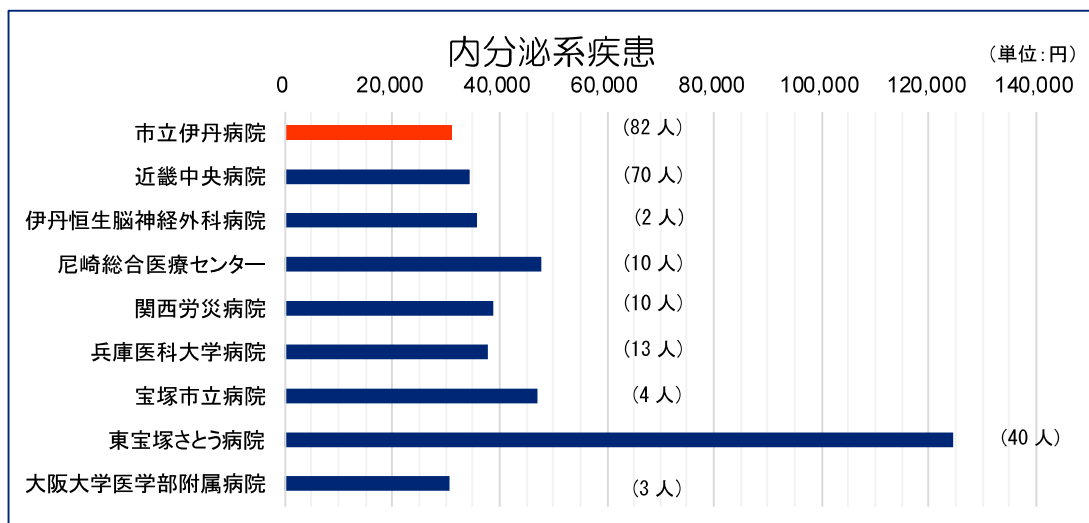
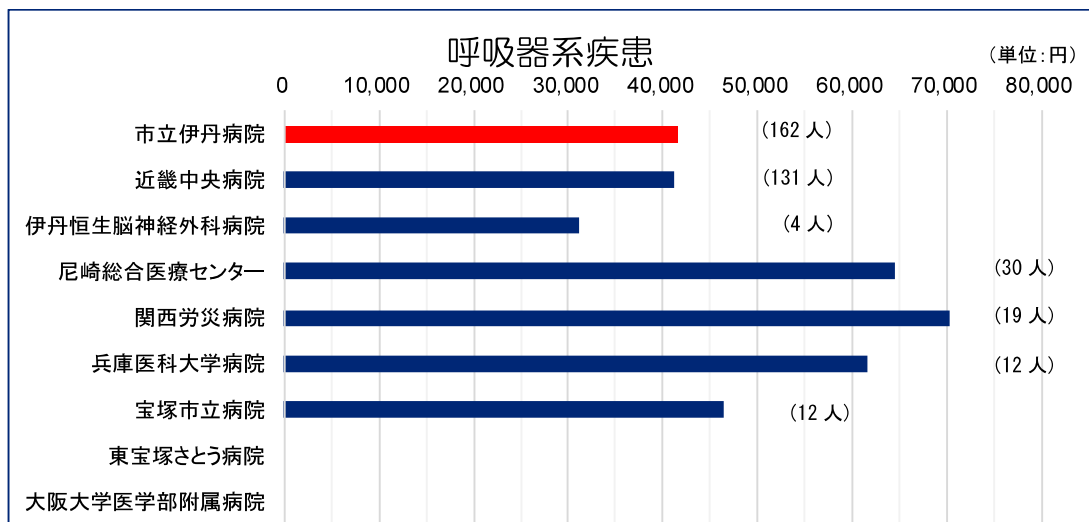
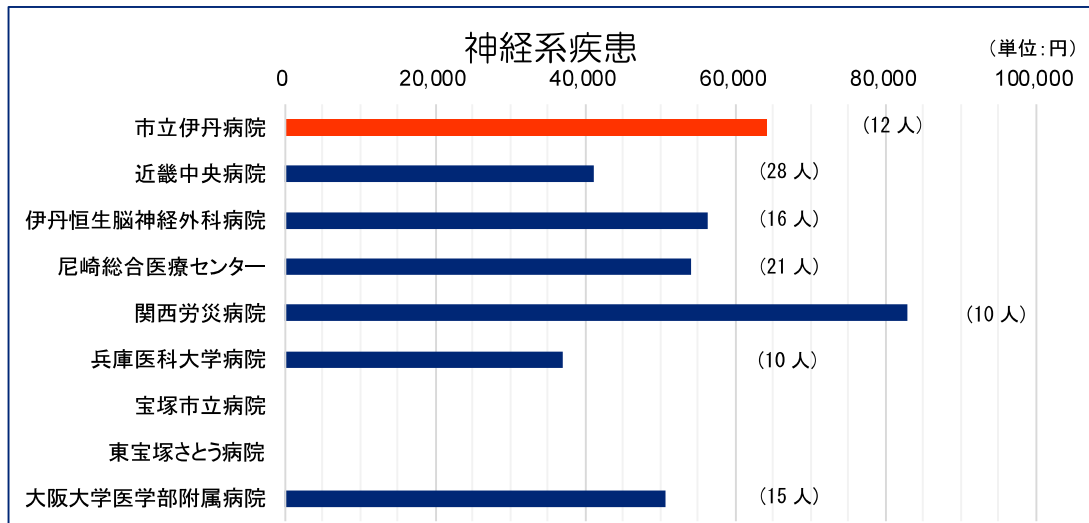


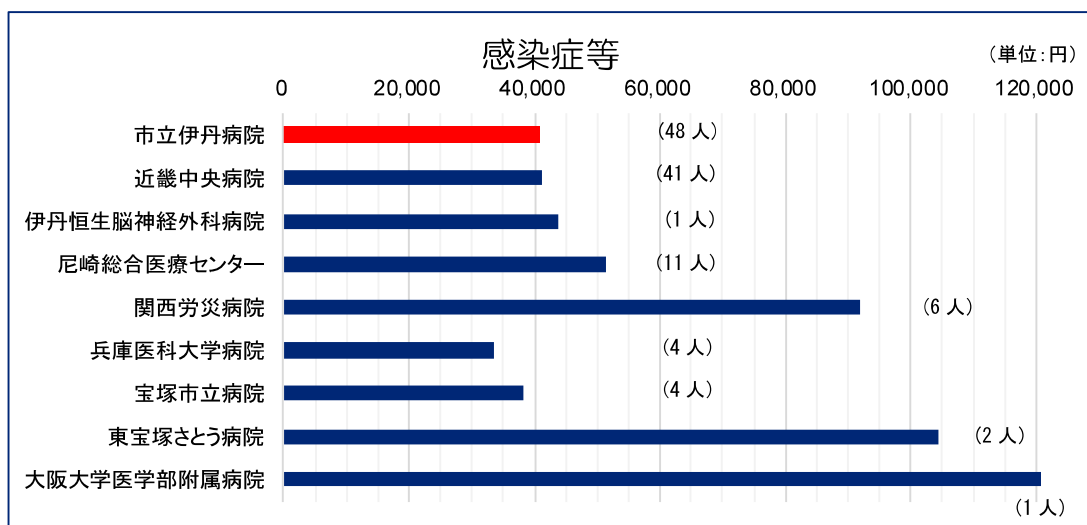
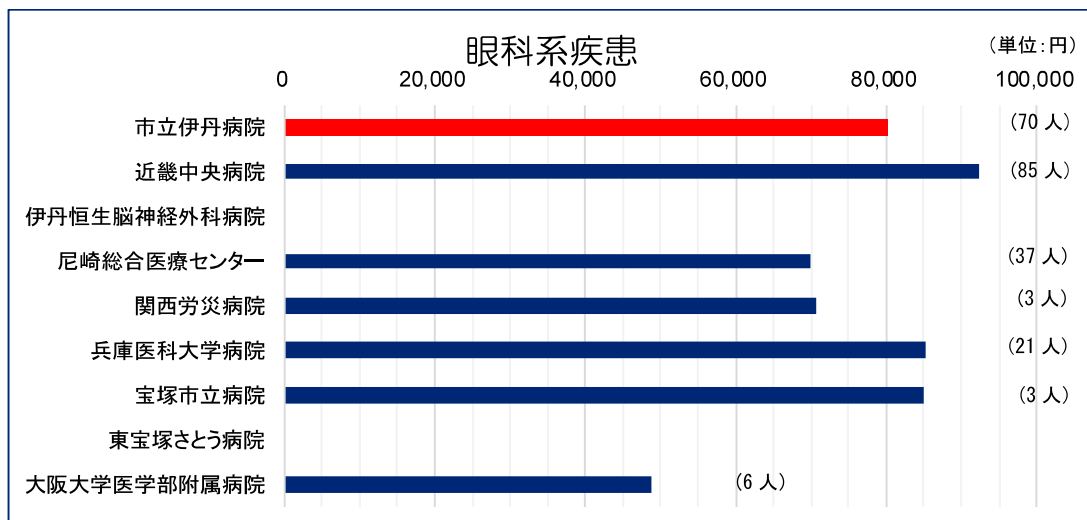
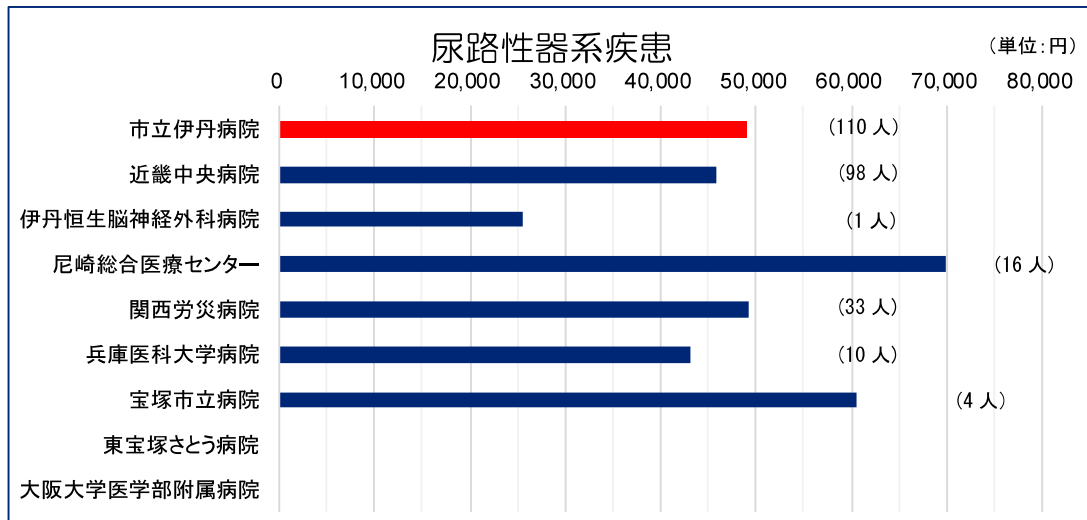
<《参考》伊丹病院と各病院との入院単価比較>

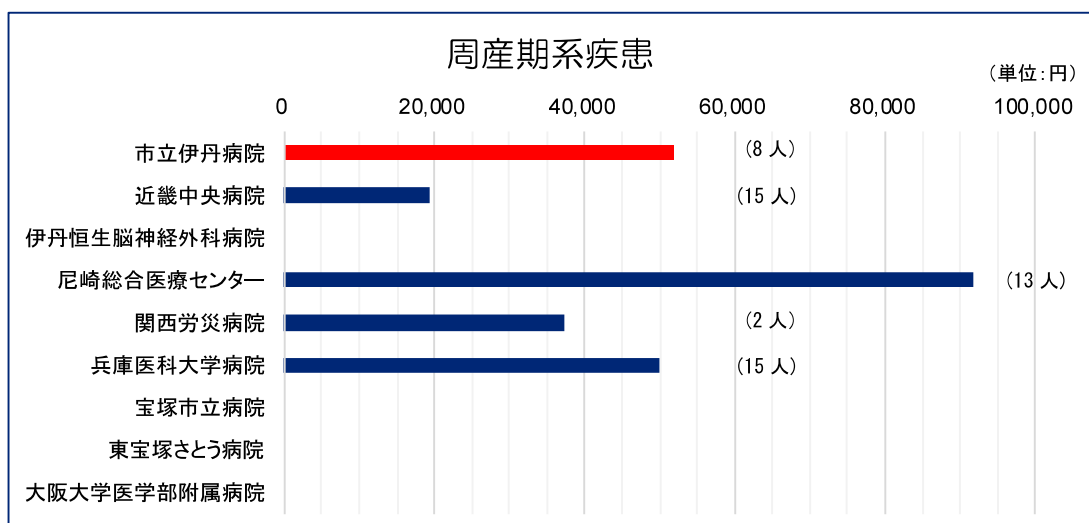
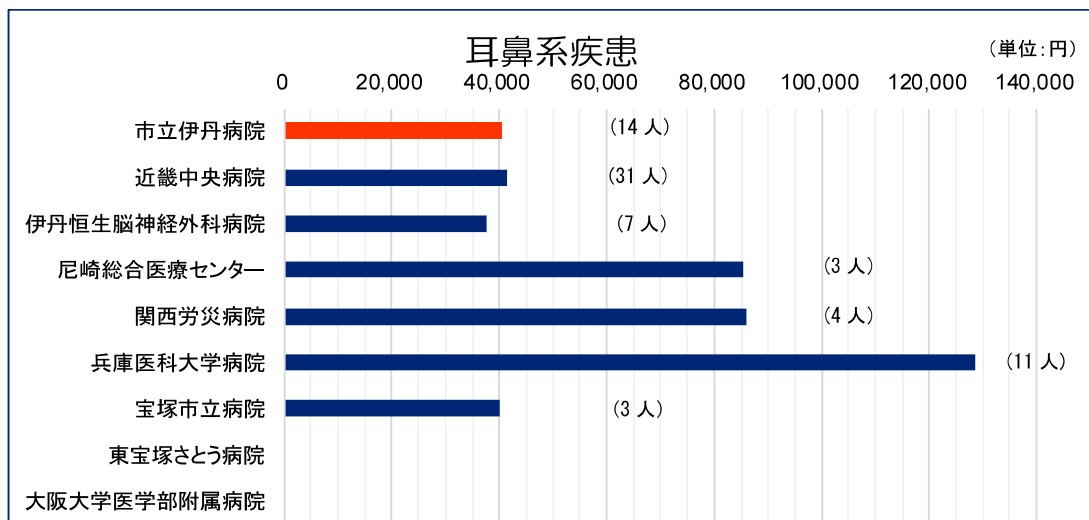
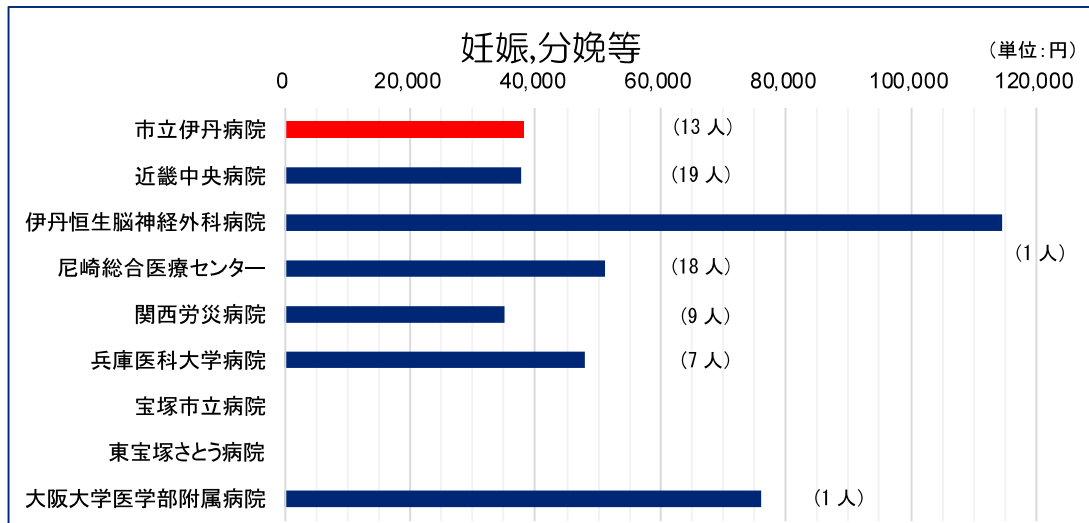
()は、12 か月分の実患者数

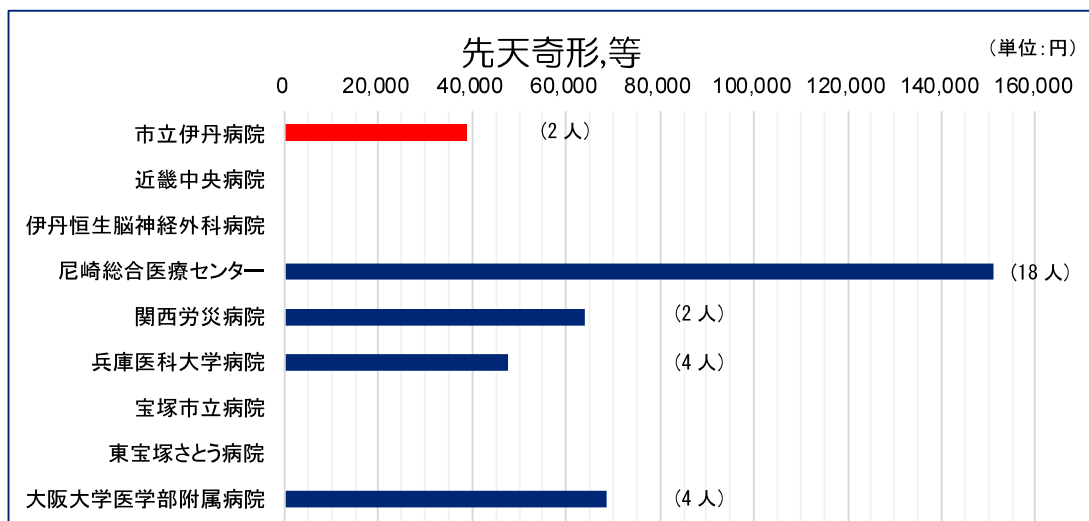
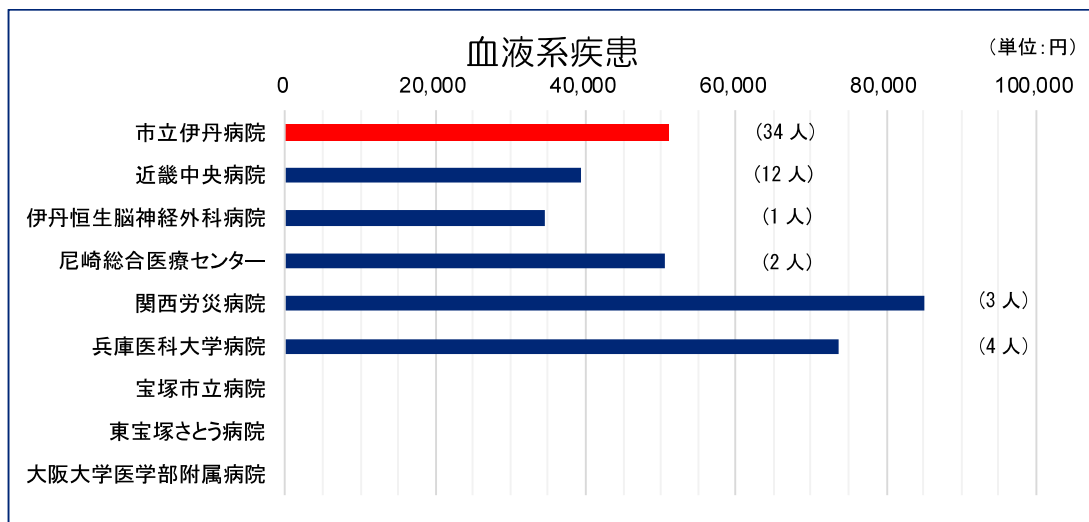
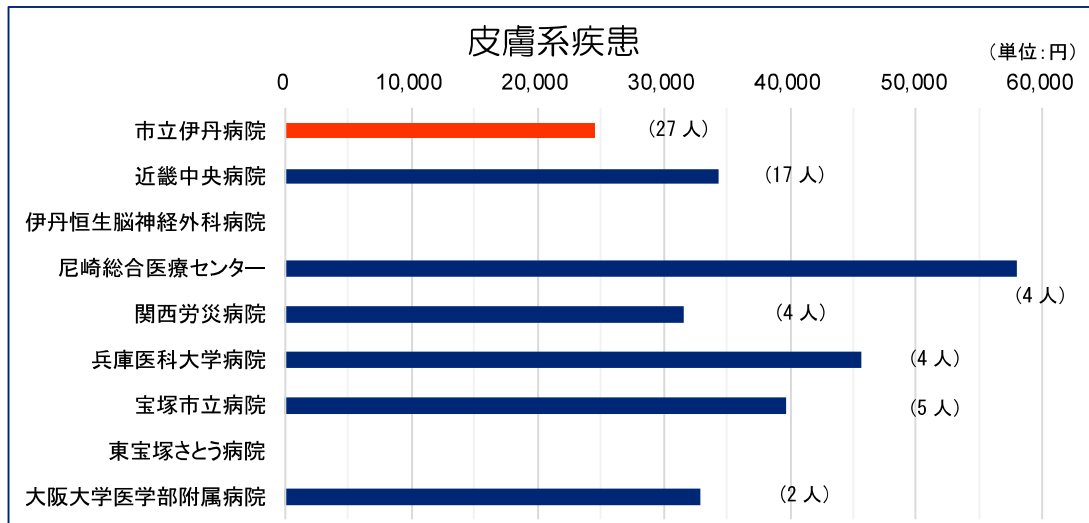












⑩ 疾病別入院患者の流出状況の分析

主に、流出の大きい循環器系疾患、新生物に対し、どのように医療提供体制の充実を図るのが、完結率を向上させるうえで重要な要素になると考えられる。

